

# ごじょうめ

昭和61年

1月15日  
(毎月1日・15日発行)

No. 532



基礎から責任をもって指導～説明を聞く受講生たち

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100代

印刷／湖東印刷所

## 町の生涯教育

### レディス・スイミングスクール

女性の皆さんを対象にした水泳教室——レディス・スイミングスクール。毎週火曜日の午後一時から約一時間、温水プールで開かれます。

一年を通しての学習の目標は、クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの泳法をマスターすること。また、水泳は全身運動であり、運動不足の解消だけでなく美容にも最適です。

先生は町の水泳協会の皆さん。初心者でも三ヶ月間で、一応それぞの泳法で泳げるよう、基礎から責任をもって指導にあたります。受講生は現在二十五人。中には二年、三年とスクールに通う人もおり、五年も続けていたる受講生は「指導員」の免許を取得できるほどに上達しています。



(広紙中にある写真を欲しい方には  
おあげします)

# 12月定例 町議会

# 59年度の決算を認定 前年度に続き各会計黒字

十二月定例議会は十二月十三日から二十一日までの九日間の日程で開かれ、昭和六十年度一般会計補正予算案や、昭和五十九年度一般会計歳入歳出決算、一般職の職員の給与を改正する案など二十二議案を審議し、全議案を原案通り可決認定しました。また、陳情七件、請願一件のうち四件を採択、三件を継続審査、一件を不採択としました。

五十九年度各会計は  
すべて黒字決

支へて黒字汎算

国 地方とも年々厳しい財政運営をしいられていま  
すが、昭和五十九年度の一般会計はじめ各特別会計は、五  
十八年度に引き続きすべて黒字決算となりました。

・歳入総額・五億九八四八万  
六二九九円  
・歳出総額 五億九八四〇万  
一三九〇円  
・実質収支額 八万四九〇九  
円

▽分担金及び負担金：三四九  
万七千円減額／農林水産施設  
災害復旧費分担金二二二万円  
減額、児童福祉費負担金一二  
七万七千円減額。

△土木費：三一〇九万二千円  
減額＝道路維持費四九五万一  
千円増額、公園事業費四〇七  
二万一千円減額、住宅建設費  
三六六万八千円増額  
▽教育費：一七三万七千円減  
額＝圈民体育館費一七九万六  
千円減額など。

また、これまで五階制の職務の「等級」を七階制の職務の「級」に切り替えられました。この改定によつて、一般行政職の平均給料月額は、十五

五城目棟線林道開設工事の  
変更契約について原案通り可  
決されました。

△総務費：四四一万二千円減額＝財産管理費一九八万円減額、税務総務費一七四万七千円減額など。  
△民生費：一五六万九千円減額、養護老人ホーム費一八四万八千円増額、老人福祉費三七五万八千円減額など。  
△農林水産業費：二五九万一千円減額＝地域農政推進対策事業費一三六万八千円減額など。

△増額＝農地災害復旧費一二八万三千円増額、農業用施設災害復旧費二三八三万八千円減額、公共土木施設災害復旧費二九五九万四千円増額。  
▽職員費：二八〇八万五千円増額＝給料一九四三万四千円増額、職員手当等六〇五万四千円増額、共済費七五万円減額、負担金補助及び交付金三四万七千円増額。

八千八十円（平均年齢三十九歳）に引き上げられました。  
**教育長の給与を改定**  
教育長の給料月額が、三万八千五百円から三十三万五千六百円に改定されました。  
教育長の給与改定は例年、一般職の職員の給与改定に伴つて行われており、今回の改定もこれによるものです。

## 50世帯と388人に配分

実質収支額 五八五七万五  
 一〇二円(昭和六十年度へ  
 の明許繰越額 五〇〇六万  
 五千円)

三二億五一九五万五千円  
昭和六十年度一般会計予算  
は、九百九十四万三千円減額  
され、総額三十二億五千百九  
十五万五千円となりました。  
歳入歳出予算補正の主な内  
容は次のとおりです。

▽諸収入：九五四万二千円増額  
△預金利子九三〇万円増額  
など。  
▽町債：一九二〇万円減額＝  
老人居室整備事業債二五〇万  
円減額、道路橋りょう整備事  
業債一五〇万円減額、都市公  
園事業債二四七〇万円減額、  
公営住宅建設事業債二四〇万  
円減額、農林水産施設災害復  
旧債八〇〇万円減額、公共土  
木施設災害復旧債二〇一〇万

昭和六十年度歳末たすけをい募金に、町内の皆さんから総額百三十七万八千四百五十五円の義援金が寄せられました。募金の内訳は、戸別募金として三千六百八世帯から百三十三万六千七百四十四円、ボーリースカウトなどの街頭募金四五万一千七百六円となっております。この義援金は配分され、十二月二十五日に、交付対象となつた町内五十世帯と三百八

十八人に贈られました。その総額は百三十二万円、残りの五万八千四百五十円は、郵便料など配分に要した費用にてられました。

義援金の配分は、町福祉協議会の配分委員会が民生児童委員の調査に基づいて次のように決定しました。

▽ボーダーライン世帯（四二世帯）二一万五千円

▽ボーダーライン世帯の人（一

- ▽重度心身・身体障害者（一九人）五万七千円
- ▽ねたきり老人（四人）一万二千円
- ▽一人暮らし老人（二五人）一万五千円
- ▽老人夫婦世帯（七世帯）四万二千円
- ▽福祉施設入所者（五四人）一〇万八千円
- ▽長期療養者（四七人）九万四千円

歳末たすけあい 義援金

▽母子世帯の人（六二人）一  
五四人）四六万二千円



五城目小学校と矢場崎グラウンド跡地に、関係者によつて記念碑が建立され、十二月十二日、それぞれの除幕式が行われました。

## 旧五城目小学校

# 跡地に記念碑を建立

## 矢場崎グラウンド

### 学舎の地に由来を記す

旧五城目小学校跡の記念碑は、学舎のあった場所に同校の由来を記しておこうと五城目小学校の同窓会と町教育委員会が中心となつて建立したもの。記念碑は幅三メートル、高さ一・五メートルの男鹿石でできており、中央に加賀谷町長の手による「夢多き頃の心宿せる五城目小学校跡」の文

字が刻まれています。また、その右には校章、左には学校の略歴を記した石板が埋め込まれています。

矢場崎運動場跡と刻まれています。裏側には矢場崎グラウンドの略歴、また台座にはグラウンドの完成年月日、面積などが記されています。



矢場崎グラウンドの記念碑（除幕式で）



旧五城目小学校跡地の記念碑（除幕式で）

### 輝かしい歴史を後世に

矢場崎グラウンドの記念碑は、同グラウンドの輝かしい歴史を後世に伝えようと、町教育委員会と町の体育協会が中心となつて建立したもの。副二・五メートル、高さ一・八メートルの仙台石に、県体育協会長・畠沢恭一氏の書で「矢場崎運動場跡」と刻まれています。裏側には矢場崎グラウンドの略歴、また台座にはグラウンドの完成年月日、面積などが記されています。

建立場所は、矢場崎住宅地の入口で、将来、住宅地の公園となるところです。

矢場崎グラウンドは、大正十三年、県内最初の公認陸上競技場として建設されました。

明治神宮大会奥羽予選大会を皮切りに、県スポーツのメッカとして数々の大会を開催し、多くの名選手を輩出してきました。

以来、五城目国民学校、五城目町立五城目小学校と改称され、また五城目幼稚園や五城目実科高等女学校（現五

城目高校）、五城目中学校が併設された時期もありました。昭和四十三年に現在の「あさひ台」に移転するまでの七年間、本町部の学舎として町民に親まれ、また多くの子供たちがこの学舎を卒立つていきました。

除幕式は、十二月十二日午前十一時から行われ、町関係

者、同窓会員、五城目小学校の生徒など二百人あまりが参加しました。同窓会副会長・安東誠氏のあいさつ、建立までの経過報告の後、町長や教育委員長、五城目小学校長らによる祝詞があり、五城目小学校六年生全員が校歌を合唱して、記念碑の完成を祝いました。

除幕式は、十二月十二日午後一時から関係者三十人あまりが出席して行われ、町長、教育委員長、体育協会会長らの手によって除幕されました。その後、会場をグリーンロード丸富に移して竣工式と祝賀会が行われました。

庁舎玄関  
ロビーに 水墨画を展示

墨舟会6人による19点

墨舟会（安東晃子代表）の皆さんの水墨画が、役場庁舎の玄関ロビーに展示され、庁舎を訪れる人たちに好評を得ています。

展示している作品は、安東晃子さん、笹尾恭子さん、笹尾生子さん、畠沢テル子さん、分銅輝子さん、田口明子さんの6人による19点で、展示期間は今月いっぱいとなっています。

墨舟会は、昭和56年から本町出身の白沢恵舟先生の指導を受けており、作品はいずれも力作ばかり。

白沢先生は、全日本水墨会の特賞や会長賞をはじめ、秋田現代水墨作家連盟展では金賞を受賞するなど、全国に知られた画家です。2月に発行される水墨画家100人集（県内からは2人）でも紹介されることになっています。



好評な水墨画の作品展

カメラレポート



高橋先生(左)から“昔っこ”を聞く

みんなで民話を楽しむ

“語りべ”に高橋先生を招く

「おじいさん、おばあさんと昔っこを聞く会」が、12月27日、町民センターで率浦大学や同大学院、家庭教育学級の学級生、また、その子供たちなど150人近くが参加して開かれました。

この「昔っこを聞く会」は、多くの人に語り継がれてきた民話を専門の“語りべ”から聴き、親しんでもらおうと町の教育委員会が開いたもの。“語りべ”には、NHKラジオ「秋田の民話」でおなじみの県青年の家の高橋肇先生を迎えて、午後1時から2時間行われました。

高橋先生は、「むかし、むかしなア……あるところに……」と語り出し、“八郎太郎の話”や“鳩の恩返し”“長い名前の話”などを次々に紹介、話の最後に「トッピンパラリのブー」と話し終えるたびに、参加者から盛んな拍手が送られていました。

お知らせ

湖東部農業を語る会

28日・八郎湯ハイツで



文化財防火デー  
1月26日

「湖東部農業を語る会」が、昭和地区青年農業者会議と昭和農業改良普及所の共催で次

の日程で開催されます。これは、湖東部農業の発展と住みよいむらづくりをめざして開かれるもので、講演には“あきたこまち”的育ての親である齊藤正一氏を迎え、また、分科会では事例発表などが行われます。

▽日時 一月二十八日（火）午前九時～午後四時

▽場所 飯田川町八郎湯ハイツ

▽内容 分科会（1）稻作（2）野菜（3）畜産

・講演「昨年の稻作反省と今後の課題」講師、齊藤正一氏（県農業試験場）

・講演「生活改善

・講演「昨年の稻作反省と今後の課題」講師、齊藤正一氏（県農業試験場）

・講演「生活改善

・講演「生活改善

・講演「生活改善

・講演「生活改善

・講演「生活改善

・講演「生活改善

▽場所	広域体育館	午前九時
▽申し込み先	二月八日まで	に五城目町公民館へ
▽問い合わせ先	協会事務局（農協購買課）	九人制バレーボールの部
▽対象	一般男子、一般女子	チーム編成
	位、同好者等編成は自由とするが、同一人の二チーム	職場、地域単位、同好者等編成は自由とするが、同一人の二チーム
	参加はできない。	参加はできない。

恋地スキー場へ

スキーバスを運行

秋田中央交通（株）五城目営業所では、恋地スキー場の開場に伴い“スキーバス”を運行しています。

このバスは一日一往復で、大川を出発し、一日市を経由して恋地スキー場に到着します。運行日は一月十九日まで毎日、二十日から三月九日までは日曜、祝日となっていります。各停留所に止まりますが、主要箇所の通過時間は次のとおりです。

▽大川着	▽大川発	（9・00）	▽バス
（16・00）	（10・00）	▽ミナル（9・15）	▽恋地着
（15・45）	（15・00）	▽恋地発（15・00）	

# 4月から福祉手当が特別障害者手当に

障害福祉年金が今年の四月から障害基礎年金に変わり、年金額が大幅に引き上げられます。これに伴い従前の福祉手当は、より重度の障害者に範囲を限定して、月額二万円の特別障害者手当となります。

特別障害者手当は四月一日から施行されますが、申請の受け付けは一月から行っていますので、役場住民課の窓口で手続きしてください。

特別障害者手当の概要是次のとおりです。詳しいことは役場住民課にお問い合わせください。

▽支給要件

特別障害者手当は、精神または身体に重度の障害があり、日常生活で常時特別の介護を必要としている二十歳以上の

方（身体障害者療護施設など）に入所している方を除く）に支給されます。ただし、本人あるいは扶養義務者などの所得が一定の額を超える場合は、特別障害者手当の支給を制限することになつています。

（立）当で、日常生活動作（立）  
つ、すわる、歩く、タオル  
をしほる、ひもを結ぶ、食  
事をする、顔を洗うなどの  
すべてが一人でできない人  
④ 内部障害者（心臓、じん臓  
肝臓、呼吸器、血液疾患、  
その他の疾患の身障手帳一  
級相当＝国民年金一級相当  
で、日常生活において絶対  
安静と判断された人



寄贈したのは、築地町町内

**築地町児童館に  
土俵マット寄贈**

加賀谷優和田喜代  
佐藤昭子八木下安広  
渡辺公夫畠沢律義  
石井健子永沢則明  
写真・土俵マツトに大喜びの子供たち

(5) 精神薄弱者または精神病者（国民年金一級相当）で、食事、用便、衣服の着脱、買物、家族との会話ができるなく、刃物や火の危険がわからぬ人

(注) 二十歳未満の重度障害児については、従来どおり福祉手当が支給されます。また二十歳以上の従来の福祉手当受給者のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害基礎年金も支給されない人については、経過措置として従来の福祉手当が支給されます。

保育所の子どもの家族全員の歯みがきの実態をアンケート調査した事がありました。別表のグラフがそれです。

一番成績の良いのが、小学生である兄姉です。対照的に一番成績の悪いのが、弟妹という結果です。これはやはり、年齢が高くなるにつれて自覚や意欲が出てくるためではないでしょうか。また、弟妹は年齢が低いため、自発的にはなかなか

かできないのではないかと思われます。  
お父さんとお母さんではお母さんが成績が良いのですが、仕事を持つていては両親とも毎日歯みがきは、ままならないようです。  
おじいさんとおばあさんの場合も、やはりおばあさんがまめにみがいている、という結果になります。  
た。全体をまとめてみると、

年齢でもなく、交通の便もあまり良くない、両親とも仕事をしている、などといふ事が重なり、むし歯になつても、治療のあとはほとんど見られません。これらのもし歯をとりまく悪条件を、どのように取り去つていくかが今後の健康な歯づくりのための課題のようす。

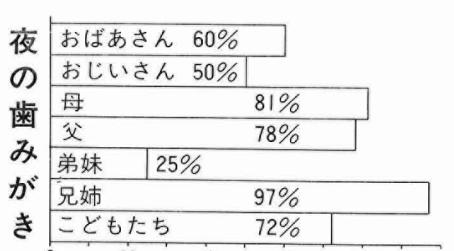
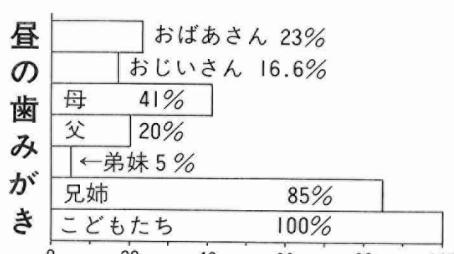
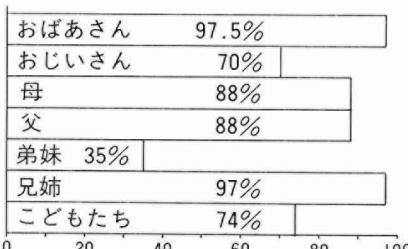
## 家族ぐるみ

## 歯みがき実践カードの 活用法

杉沢保育所

## 五 親と子の 健康な歯づくりをめざして

家族で積極的に歯みがきをしている、という家庭の子どもがきれいな歯をしています。





友だちの声援をうけて「ヨイショ」

内川小学校で、十二月一日に「父親参観日」が行われ、子供たちはお父さんたちとモチツキを楽しみました。

この日使われたモチ米は、子供たちが学校田で田植えや

稻刈りをして収穫したもの。

校長先生からモチづくりやモチツキの由来についてのお話

があった後、お母さんたちが

コシキでふかした四十キロの

モチ米に挑戦しました。体育

館には三つの臼が用意され、臼を囲んだ児童たちは、杵を振るうお父さんや、いどりをするお母さんに「ワッショイ、ワッショイ」の大聲援を送つ

ていました。

途中、男の子は杵を持たせてもらいましたが、モチがくつついて杵が持ち上がりながら、白の縁ばかりいたいたりする子供もおり会場は大

いざな

爆笑。また、女の子はお母さんたちと一緒に、モチにきな

粉やゴマをまぶして手伝つて

いました。

お昼には全員でつきたての

モチを食べましたが、子供たちにとって、自分たちで収穫した米で作ったモチの味は、また格別だったようです。

## 学校田のモチ 米でモチツキ

### 内川小学校

## 町内の話題

## 会結成三十周年を祝う

### 五城目町連合青年会

五城目町連合青年会（石井勝義会長）の結成三十周年記念式典が十二月八日、町民セ

ンターで来賓や関係者など約

百二十人が出席して行われま

した。

式典は午後一時から始まり、

同会の発展に尽された十四人

に感謝状、十七人と二団体に

表彰状が贈られました。また、

会長のあいさつ、来賓の祝辞

の後、記念講演が行われ、元

日本青年団協議会副会長で現

岩手県衣川村長の菊地豊氏が

「私の地域づくり構想と青年

運動」と題し講演。

引き続き、内川青年会が復

活、継承している「内川さ

ら」、今年度全国青年大会に出

場した合唱の発表が行われ、

正男▽第31回全国青年大会最

優勝（57年）▽石川光彦

▽第33回全国青年大会最優

勝（59年）▽伊藤和義▽第34

回全国青年大会卓球個人3位

合併に伴い、現在の組織にな

りました。

五城目町連合青年会が町村

合併に伴い、現在の組織にな

りました。

三十周年記念式典に花を添え

ました。

年賀状は約十八万枚。局員九

人、アルバイト学生十四人に届けられました。

同郵便局で元日に配達した

年賀状は約十八万枚。局員九

人、アルバイト学生十四人に届けられました。

年賀状は約十八万枚。局員九

人、アルバイト学生十四人に届けられ

# いそのぬ風土記

②

## 五城目朝市の発祥とその変遷(四)

### 今日の朝市寸描

五城目町では昭和三十年「定市場設置条例」を定め朝市の保存・管理の指針を示し、以来数回の改正を経て今日に至っている。

この条例では、朝市の開設場所を「定市場」と称し下夕町を指定している。今回はその市の模様を図で再現してみよう。

この図は、昭和五十六年九月十日に五城目高校社会部が六時、八時、十時の三回にわたつて店数と販売品目

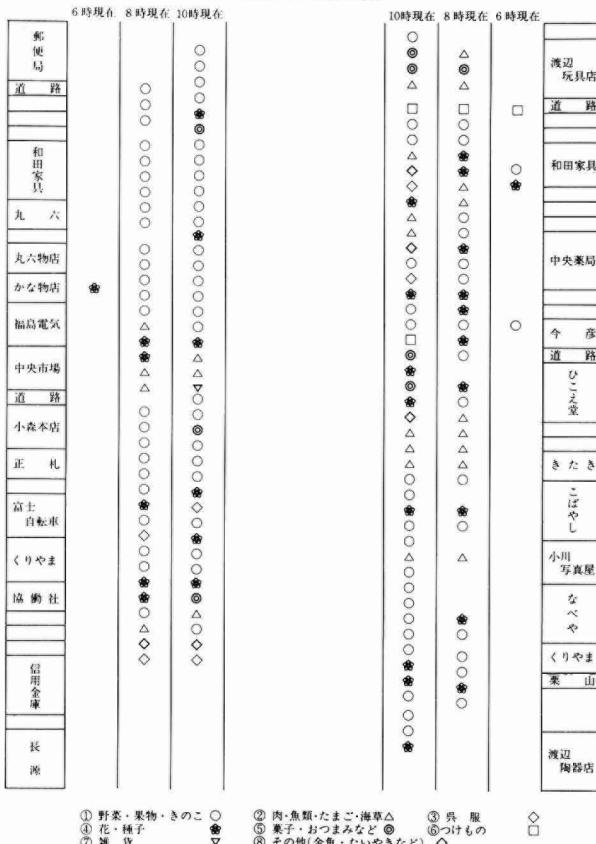
を調査して表にしたものである。この表に示すとおり朝市にはちがいないが、早く朝というわけではなく、八時から十時頃までにほぼ出

そろう。野菜・果物・きのこなど季節の旬のものが多く、つけもの・花・種子などがセットになっているケ

ースが目立った。店の数はほぼ出そろつたと判断した午前十時には八十七軒であったが、正月は百軒を上まわるはずである。

### 出店調査

昭和56年9月10日現在



県立五城目高校社会部誌「梧桐」より

## 2月ごみ収集日程表

### 「もえるごみ」

曜日	3日・6日・10日・13日・17日 20日・24日・27日	月・木
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町今町、御蔵町、小池町、川原町、新町一一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原樋口、岩城町	4日・7日・14日・18日・21日 25日・28日	火・金
大川(1区～4区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	1日・5日・8日・12日・15日 19日・22日・26日	水・土

### 「もえないごみ」

空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町今町、御蔵町、小池町、川原町	8日・第2土
新町、一一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	14日・第2金
築地町、畠町、新畠町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	13日・第2木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	12日・第2水
大川(1区～4区以外の地区)、森山地区、馬川地区	1・第2火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	10日・第2月
	22日・第4土
	28日・第4金
	27日・第4木
	26日・第4水
	25日・第4火
	24日・第4月

- 注意
- 台所のごみ(もえるごみ)は必ずよく水切りをしてから出してください。
  - 「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
  - 乾電池は、粗大ごみの時収集しますので混同しないでください。
  - 祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
  - ゴミ1個を10kg以内にこん包して出してください。

五城目町清掃センター TEL 52-9904

### 寄生虫卵の検査

無卵者には通知しません

寄生虫卵の検査は、昨年十二月に馬場目、馬川、大川地区を対象に行いましたが、その結果、異状が認められなかつた方には、検査表は送付いたしません。なお、有卵者に対する個人あてに検査表が送付されます。

(亡母タカ様の香典返しとして)  
五万円 米沢町 今村方介  
(敬称略)  
(亡母マツエ様の香典返しとして)  
二万円 新里町 富樫青一  
(亡祖母ナヲ様の香典返しとして)  
二万円 新里町 富樫青一  
(亡母マツエ様の香典返しとして)  
十一月十五日 中村 斎藤カツエ  
(入院見舞のご返礼の一部を寄付したもの)  
二万円 新里町 富樫青一  
(亡母マツエ様の香典返しとして)  
十一月二十五日 新里町 富樫青一  
(亡祖母ナヲ様の香典返しとして)  
二万円 新里町 富樫青一  
(亡母マツエ様の香典返しとして)  
十一月七日



預 善 意 銀 行  
者

(亡母タカ様の香典返しとして)  
十一月七日